

# 第5次鯖江市総合計画推進にかかる各部施策方針

**「施策方針」とは** 第5次鯖江市総合計画を着実に推進するため、市役所各部の職員が共通認識の下で各施策を積極的に展開・推進していくための具体的な取り組み方針を定めたものです。

ここでは、各部の主な基本方針および具体的目標について取り上げています。その他の方針や重点的に取り組む項目、具体的目標については、市ホームページをご覧ください。

## Ⅰ 基本方針

## Ⅱ 具体的目標

### ◇総務部（12の基本方針・15の重点項目）

マイナンバー制度の導入に向けた準備を円滑に進めるとともに、制度の理解普及に向けた啓発に努めます。	<b>■マイナンバー制度の周知啓発と準備の円滑化</b> ・【新】 制度内容や準備状況等の広報誌・ホームページによる周知啓発 5回
北陸新幹線事業の着実な推進を図るため、鉄道・運輸機構および県とともに地元の調整に努めます。	<b>■北陸新幹線の着実な推進</b> ・北陸新幹線整備連絡会議・推進チーム会議の開催 12回 ・【新】 先進事例視察（沿線住民対応） 1回 ・市民への広報誌等での情報提供 2回
まちづくりに携わる新たな層の人材の巻き込み・掘り起こしを図ることで、市民役のまちづくりのさらなる拡充と自治組織の強化を目指します。	<b>■市民役のまちづくりに向けた意識の醸成と自治組織の強化</b> ・【新】 地区まちづくり応援団養成講座修了生による自主的なまちづくり活動の立ち上げ 2地区 ・【新】 市民役フォーラムにおける自治組織の強化を目指した研修の実施 200人
女性の社会参加や男性の家事・育児への参加意識の改革、仕事と生活の調和を図るワークライフバランスを推進し、男女共同参画社会の浸透に努めます。	<b>■男女共同参画社会の実現</b> ・市の審議会等への女性の参画率 35% ・ワークライフバランスをはじめとする男女共同参画に関する学習会の実施 12回 550人
地域住民による防災訓練の実施と防災士や防災リーダーの養成に努め、自助、共助、協働を理念に地域防災力の向上を目指します。	<b>■自主防災組織の強化</b> ・防災士資格取得者数 40人 ・防災リーダー養成講座修了者数 50人

### ◇政策経営部（13の基本方針・16の重点項目）

本市の地域資源を有効活用し、人口・経済・地域社会の課題に一体的に取り組むため、「鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略」および「鯖江市人口ビジョン」を策定します。	<b>■総合戦略および人口ビジョンの策定と推進</b> ・【新】 鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定 10月 ・【新】 鯖江市人口ビジョン策定 10月
ふるさと納税制度の啓発に努め、自主財源の確保およびふるさと製品の積極的なPRを図ります。	<b>■ふるさと納税の推進</b> ・イベントや会合などでふるさと納税制度の周知 3回 ・ふるさと納税目標 600件 3,300万円
財政健全化に向けて、行財政構造改革アクションプログラムを着実に推進します。	<b>■行財政構造改革アクションプログラムの推進と4つの財政指標の平成26年度決算における目標値</b> ・実質赤字比率 0%未満 ・実質公債費比率 12.0%以下
市民への資金調達場の提供を目的として、クラウドファンディング事業を実施するとともに、市の事業への新たな歳入確保の手段として活用します。	<b>■クラウドファンディング「FAAVOさばえ」の運営および活用</b> ・【新】 広報紙等による周知 2回 ・【新】 目標金額達成事業数 8事業
市民の誰もがICT(情報通信技術)の恩恵を受けることができるよう、情報化施策の推進に努めます。	<b>■電子自治体を目指した情報化施策の推進</b> ・IT推進フォーラムの開催 200人 ・オープンデータ推進（オープンデータプラットフォームでの公開） 100件 ・タブレット、アプリの使用方法やfacebookなどSNS講座の開催 20回 200人

### ◇健康福祉部（7の基本方針・16の重点項目）

全ての人が地域の中で自分らしく生き生きと暮らすことができる自立と共生のまちづくりを推進します。	<b>■地域福祉計画の推進</b> ・見守り体制の組織化率 60% ・【新】 近所福祉ネットワーク活動の出前講座等の開催 30回
高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、生きがいつくりと介護予防の推進に努めます。また、いつでも安心して医療・介護サービスが受けられる地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みに努めます。	<b>■高齢者の生きがいつくりと介護予防の推進</b> ・介護予防いきいき講座参加者数 4,550人 <b>■認知症対策の充実</b> ・認知症サポーター養成講座参加者数 300人
安心して生み育てることができるよう、子育てに関わる支援事業の充実を図るほか、地域や社会全体で子どもを見守り育む環境整備を推進します。	<b>■保育サービスの充実</b> ・【新】 地域型保育事業の事業所認可 1箇所 ・【新】 認定子ども園に向けた基本方針のとりまとめ 1件 <b>■子育て支援の充実</b> ・子育て活動の親子参加者数 29,000人
市民が生涯にわたり心身ともに健康で過ごせるよう、食生活や運動、心の健康づくりなど健康に関する講座の開催や情報提供などを行い健康づくりの推進に努めます。	<b>■第6次保健計画の策定</b> ・【新】 第6次保健計画の策定 3月 <b>■市民の主体的な健康づくりの推進</b> ・健康教室の開催数、参加者数 125回 2,500人

◇産業環境部（12の基本方針・16の重点項目）

本市の地場産業に蓄積された高度な技術を活かし、若者が誇りと魅力を感じ、将来に夢を持つことのできる新しい産業の創生を目指します。	<b>■「作るだけの産地」から「作って売る産地」への転換</b> ・【新】成長分野の技術開発、海外販路開拓支援件数 8件 ・鯖江の頑張るリーダー企業応援事業・新製品新技術開発等の支援件数 65件
商工会議所、地元住民、学生、商店街などと連携・協働し、西山公園と街なかとの一体性を図りながら「賑わい」「憩い」「癒し」にあふれる中心市街地の形成を推進します。	<b>■中心市街地の活性化</b> ・賑わいプラン事業実施数 19事業 ・【新】新たな中心市街地活性化策の検討 1月
（一社）鯖江観光協会をはじめ関係機関と連携し、通年型の産業観光・広域観光の推進に努めます。	<b>■通年型観光・産業観光・広域観光の推進</b> ・【新】「西山公園」年間観光客数 100万人 ・めがねミュージアム、うるしの里会館、石田縞手織りセンター来館者数 20万人
さばえ菜花米や吉川ナス、マルセイユメロンの園芸作物など特産農産物の生産体制の確立とブランド化を推進します。	<b>■おいしい鯖江米の生産体制の確立</b> ・【新】担い手の地力アップ取り組み面積 160ha <b>■新たな水田農業政策への対応</b> ・【新】「鯖江市農業・林業・農村ビジョン」の改訂 3月
一般廃棄物処理計画に基づき、中長期的な視野に立って、ごみの排出量削減と資源化率の向上に努めるとともに、ごみ有料化に向けた議論を深めます。	<b>■ごみの減量化と3Rの推進</b> ・1人1日当たりのごみ排出量 936g(対前年比△9g) ・【新】ごみの有料化に向けた方針の決定 3月

◇都市整備部（8の基本方針・10の重点項目）

幹線道路のネットワークの見直しと身近な生活道路の整備、通学路の安全確保に向けた環境整備に取り組みます。	<b>■円滑で安全な道路網の整備</b> ・安全な自転車通行区間の整備延長 1,000m ・交差点100箇所改良事業 33箇所
雨水幹線の整備、田んぼダムの推進による洪水被害の軽減を図ります。また河川環境の適正管理など、水害に強いまちづくりに取り組みます。	<b>■災害に強い河川等の整備</b> ・雨水幹線・支線排水路の整備率(延長) 44.8% ・冠水箇所の解消 10箇所 ・田んぼダム整備面積 122ha
地域資源を活かした都市計画・土地利用を推進し、快適で美しい誇りの持てるまちづくりを促進します。	<b>■調和のとれた都市空間の形成</b> ・道の駅「西山公園」来館者数 60万人 ・西山動物園来園者数 17万人
農業の多面的機能の維持・発揮のための活動や耕作条件を改善するための農地盤整備を支援します。併せて農村環境基盤整備を実施し、安全で快適な農村環境づくりに取り組みます。	<b>■農業の多面的機能の維持・発揮のための活動に対する支援</b> ・新たに多面的機能支払交付金に取り組む活動組織 2組織 <b>■耕作条件を改善するための農地盤整備に対する支援</b> ・【新】農地耕作条件改善事業取組組織 5組織

◇教育委員会（9の基本方針・18の重点項目）

ものづくりを核としたふるさと教育(学習)に取り組み、郷土に自信と誇りを持てる子どもたちの育成に努めます。	<b>■ものづくりを核としたふるさと教育の推進</b> ・【新】ものづくりや歴史文化などふるさと理解のためのゲストティーチャーによる講演会・体験活動の実施 全小中学校で2回 <b>■ふるさと学習の推進</b> ・【新】地域でのふるさと学習事業の開催数 10回
公民館を中心に、地域や家庭の教育力の向上と青年活動の活性化を推進します。	<b>■地域の教育力の向上</b> ・公民館合宿通学事業の実施 子どもの参加者数 430人 ボランティアの参加者数 1,300人 <b>■地域における青年活動の推進</b> ・地域青年交流事業の開催 1,000人
芸術文化の振興と文化財等の調査、保存に取り組むとともに、それらを活用して郷土に愛着と誇りの持てるふるさと学習の推進に努めます。	<b>■文化財の調査、保存、啓発の推進</b> ・国、県、市指定文化財の新規登録数 5箇所 <b>■文化活動への参加と豊かな心を育む文化のまちの推進</b> ・【新】ふるさと学習の参加者数 800人 (芸術文化体験事業、間部詮勝シンポジウム等)
市民各層におけるスポーツ習慣の定着と生涯スポーツ社会の推進に努めます。また、平成30年に開催される「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会が、市民とともに開催する大会となるよう取り組みます。	<b>■市民各層におけるスポーツ習慣の定着と市全体の生涯健康および生涯スポーツ社会の推進</b> ・健康教室、ニュースポーツ教室、スポーツ交流事業 40回 1,500人 <b>■全市的な国民体育大会開催の推進</b> ・【新】平成30年「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会鯖江市実行委員会の設置 11月